

新島の火山活動解説資料（平成 26 年 7 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報事項に変更はありません。

活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2）

式根（丹後山の西南西約 4 km）に設置してある遠望カメラによる観測では、丹後山山頂部に噴気は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 3 - 、図 4）

31 日 14 時 04 分に新島付近で発生したマグニチュード¹⁾ (M) 2.2 の地震により、新島村で震度 1 を観測しましたが、これ以外に新島付近を震源とする火山性地震の発生はなく、地震活動は静穏に経過しました。火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 1、図 3 - ）

GNSS²⁾ 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。

- 1) マグニチュード (M) は地震の規模をあらわします。この値は暫定値で、後日変更することがあります。
- 2) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

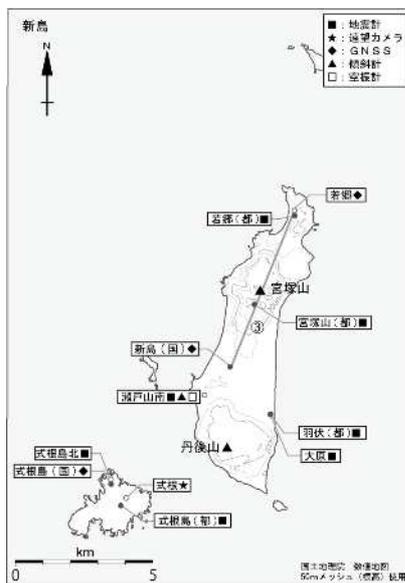


図 1 新島 観測点配置図
GNSS 基線は図 3 の に対応しています。



図 2 新島 丹後山山頂部の状況
（7 月 26 日、式根遠望カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 26 年 8 月分）は平成 26 年 9 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、独立行政法人防災科学技術研究所及び東京都のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。

【計数基準の変遷】
 A型地震
 2010年10月1日(観測開始)～ 瀬戸山南から半径8km、深さ20km以内
 BH型地震
 初期 2010年8月2日～2013年9月30日 瀬戸山南振幅0.8 μ m/s以上
 変更 2013年10月1日～ 瀬戸山南振幅4.0 μ m/s以上

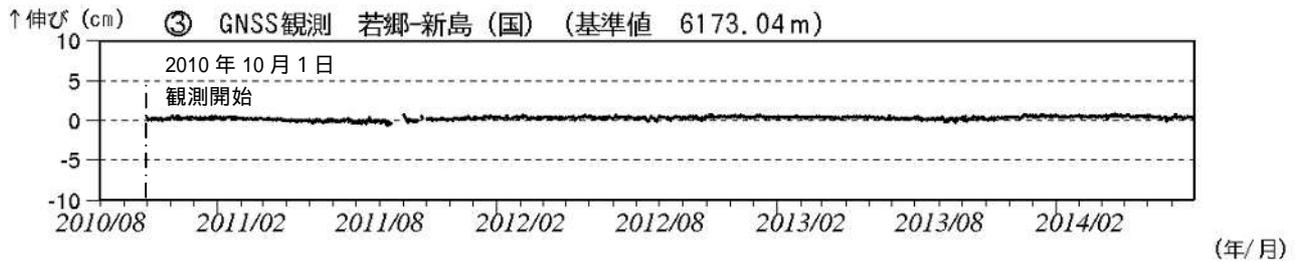
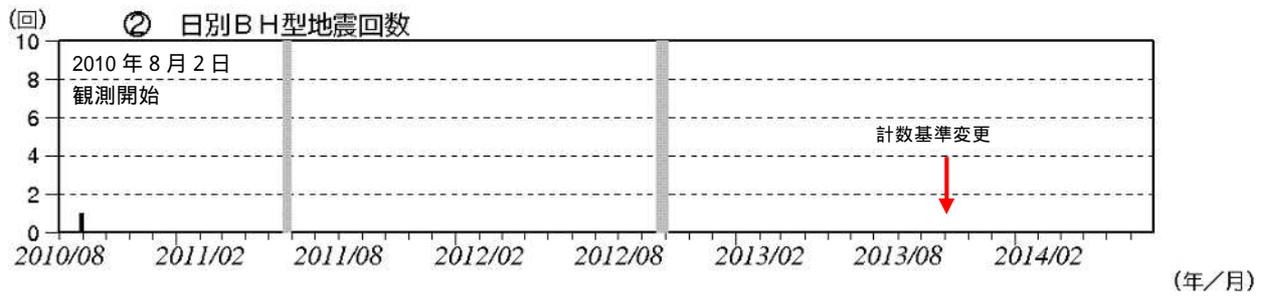
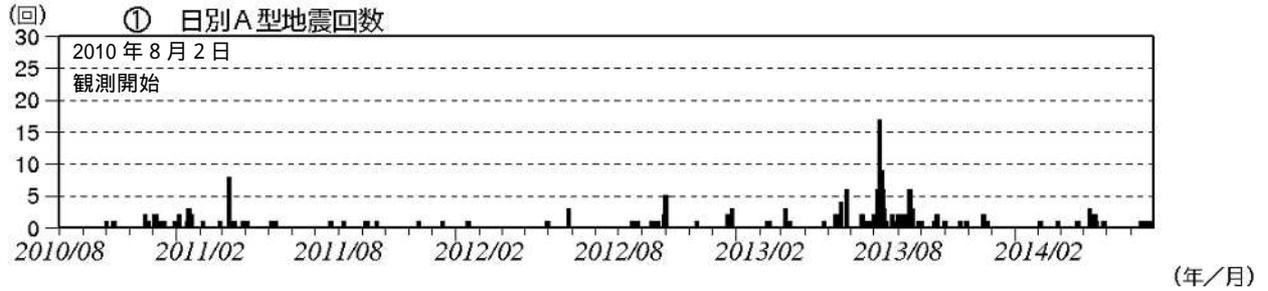


図3 新島 火山活動経過図(2010年8月2日～2014年7月31日)
 新島周辺の日別地震回数
 ・図の灰色部分は機器障害のため欠測。
 GNSS連続観測による基線長変化(国): 国土地理院
 ・は図1のGNSS基線に対応しています。
 ・グラフの空白部分は欠測期間を示します。

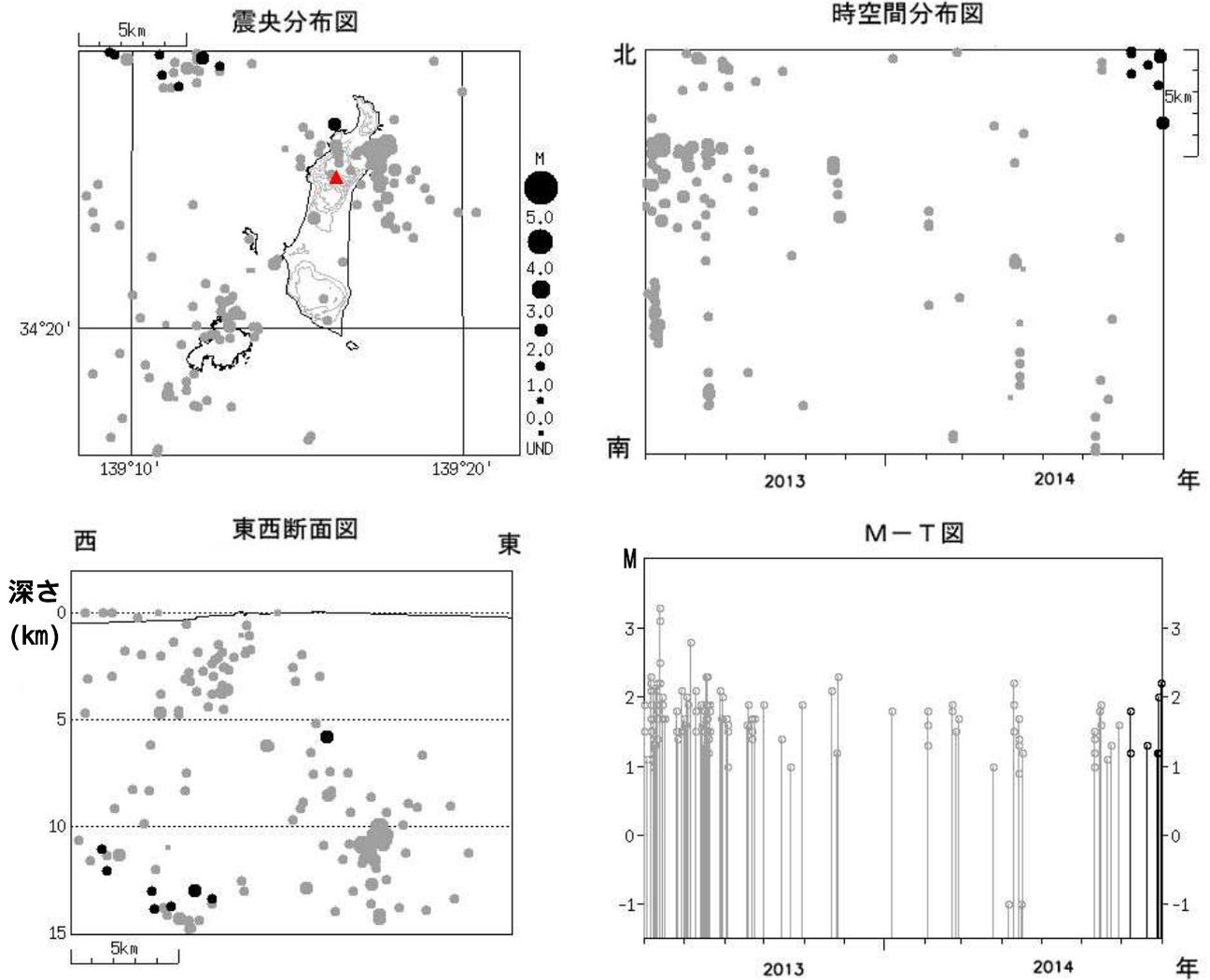


図4 新島 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2013年7月1日~2014年7月31日)
 : 2013年7月1日~2014年6月30日 : 2014年7月1日~7月31日
 M(マグニチュード)は地震の規模を表します。
 図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。
 計数対象(瀬戸山南から半径8km、深さ20km以内)以外の地震が含まれるため、図3-の
 日別A型地震回数とは異なります。